

令和5年度版 大杉東小学校 国語科 第5学年

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
4	-	五年生で学ぶこと				
4	4 (話す 聞く2)	言葉で伝え合おう				
4	2 (話す 聞く2)	わたしは木	<p>◇友達言葉や動作を受け止めてつなげる。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表 A(1)ウ</p>	1	<p>○即興的な活動を通して、よく見てよく聞きながら受けとめることを考えるという学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「連想ゲーム」をする。</p> <p>(1) ペアで連想した言葉を言い合う。</p> <p>(2) グループになり、となりの人が言った言葉から連想する言葉を、リズムに乗せて言う。連想ゲームに動作やジェスチャーをつけてもよい。</p> <p>(3) 前の言葉にすぐ反応して言葉を言うことで気づいたことを交流する。</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の</p>

			<p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 A(1)エ</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表 A(2)ア</p>	<p>2</p> <p>2. 「わたしは木」をする。</p> <p>(4) 連想した人や物を言いながら体で表現し、前の人たちの言葉や体の形から連想してストップモーションで止まり、グループ全員で一枚の絵を作る。</p> <p>(5) 一番に言った人が残す人を決めて、そこからもう一度連想して動きをつなげる。</p> <p>(6) 「わたしは木」をして気づいたことを交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Aエ）</p> <p>【態度】進んで目的や意図に応じて、話題を決め、学習の見通しをもって必要な情報を集め、友達の言葉や動作を受けとめようとしている。</p>
4	1	水平線	<p>□目や耳で捉えた世界の感じ方を想像しながら詩を読む。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒◎知技(1)ケ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を</p>	<p>1</p> <p>1. 繰り返される「……ある」という言葉の響きに気をつけて音読する。</p> <p>(1) 繰り返されている言葉と、一度しか現れない言葉を確認する。</p> <p>(2) 「ある」の繰り返しを声に出して読み、耳で聞くことでどう感じるかを交流する。</p> <p>2. 「水平線」という言葉から感じられることを話し合う。</p> <p>(1) 一度しか現れない言葉（「ゆれているはずなのに」「空とはちがうぞ」「ほんとうの強さみたいに」）の言葉から感じられることを発表し合う。</p> <p>(2) 「水平線」という言葉から感じられることを感想にまとめる。</p>	<p>◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク）</p> <p>◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。（〔知識及び技能〕(1)ケ）</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Cエ）</p> <p>【態度】進んで詩の目や耳で捉</p>

	1	うぐいす	<p>基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p><input type="checkbox"/>人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p><input type="checkbox"/>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒C 思判表(1)オ</p> <p><input type="checkbox"/>文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒C 思判表(1)カ</p> <p><input type="checkbox"/>詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒C 思判表(2)イ</p>	2	<p>1. 「透き通る」と感じた作者の耳の傾け方を想像して、作者が気付いたり感じたりした回りの様子を話し合う。</p> <p>2. ウグイスの声の響き、鳴き声と情景などの広がりや、間や声の調子に気をつけて音読する。</p>	<p>えた世界の感じ方を想像し、学習の見直しをもって言葉の響きに気をつけながら、音読しようとしている。</p>
4 ～ 5	8 (書く 2)	一 くふうされた表現をもとに、登場人物のしんじょうをそうぞうして読もう	<input type="checkbox"/> 登場人物の心情の移り変わりを考えながら読む。			
		いつか、大切なところ	<p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒ ◎知技(1)ク</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p>	<p>1 ○単元とびらを読んで、学習の見直しをもつ。</p> <p>2 確かめよう</p> <p>1. 登場人物や中心人物を確認する。</p> <p>(1) 登場人物や中心人物を文章の中から探し、確認する。</p> <p>(2) 中心人物である「亮太」は、始めと終わりの場面で何がどのように変わったかを確認する。</p>	<p>◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(【知識及び技能】(1)ク)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えてい</p>	

		<p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技</p> <p>(1)ケ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>□物語を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>3～5</p> <p>6</p> <p>7・8</p>	<p>考えよう</p> <p>2. ゆれ動く亮太の心情を考えて工夫してノートにまとめる。</p> <p>(1) 亮太のゆれ動く心情がわかる表現にサイドラインを引き、場面ごとに抜き出し、表やふきだし等を使ってその時の亮太の心情を考えてノートにまとめる。</p> <p>(2) 亮太の心情がいちばん大きく変わった場面はどこか考え、話し合う。</p> <p>深めよう</p> <p>3. 亮太が変わることができた理由を紹介し合う。</p> <p>広げよう</p> <p>4. 題名「いつか、大切なところ」について、亮太にとっての意味を心の動きを手がかりに考え、ノートに書く。</p>	<p>る。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)</p> <p>【態度】進んで物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって登場人物の心情の移り変わりを考えながら読もうとしている。</p>
--	--	--	--------------------------------	---	--

					○学習を振り返る。	
5	4 (書く 1)	新聞を読もう	<p>□新聞の仕組みを知り、それをもとに同じできごとを扱った新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて気づいたことを発表し合ったりする。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さ</p>	1	<p>○新聞について話し合い、その仕組みや内容に興味・関心をもつとともに、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 新聞の仕組みを整理する。</p> <p>(1) 新聞の特長、新聞記事の構成、見出しやリードなどの用語を知る。</p> <p>(2) 図や写真などの載せ方(紙面の配置)などについて確認する。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア)</p> <p>【態度】進んで新聞の仕組みを知り、今までの学習を生かして新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて考えたことを話し合おうとしている。</p>
				2	<p>2. 新聞の内容や構成を比べて特徴について考える。</p> <p>(1) 新聞に載っている内容や興味のあるところについて発表し合う。</p> <p>(2) 図や写真などの載せ方(紙面の配置)などについて、実際の新聞を見て確認する。新聞の構成を比べる。</p>	

			<p>え、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。</p> <p>⇒◎思判表 C(1)ア</p> <p>□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒思判表 C(1)ウ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表 C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p> <p>□説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表 C(2)ア</p> <p>□学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。 ⇒思判表 C(2)ウ</p>		
			<p>3・4</p> <p>3. 同じできごとを扱った新聞記事を読み比べ、内容や見出し、写真などについて気づいたことを話し合う。</p> <p>4. 新聞についてわかったことをまとめる。</p> <p>○学習を振り返る。</p>		
5	3 (書く 3)	「情報ノート」を作ろう	<p>■興味をもったり、疑問に思ったりしたことについて、情報を集めて「情報ノート」を作る。△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに</p>	1	<p>○情報ノートを作る目的と意味を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア◎【思</p>

			<p>に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒B 思判表(1)ウ■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)エ■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆総合的な学習の時間など：自分の課題を見つける際に有効である。</p>	<p>2・3 決めよう・集めよう（重点）</p> <p>1. 情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「興味のあること」「疑問に思ったこと」を出し合い、どんな情報を集めたらよいか考える。 ・さまざまな情報を集めた中から、情報ノートに残したい情報を選ぶ。 <p>書こう</p> <p>2. 使う情報を選び、「情報ノート」を作る。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>判表】目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って感じたり考えたりしたことについて情報を集めて「情報ノート」を作ろうとしている。</p>	
5	1	漢字の広場 ① 漢字学習ノート	△新しく学ぶ漢字や既習の漢字を取り立て、音訓・意味・使い方などを調べて漢字学習ノートを作る。	1	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。	◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けられているとともに、送り仮名や仮名遣い

		<p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ</p>	<p>2. p.40を参考にして、既習漢字の中の一字について、読み方・意味・使い方などを調べ、短文を考えて、「漢字学習ノート」に書き、まとめる。</p> <p>3. 「漢字学習ノート」に書いた使い方と短文をそれぞれ発表し合う。</p> <p>4. 「豆知識」コーナーの具体例を知り、その中から一つ選び、作ってみる。</p> <p>5. どんな「豆知識」を書いたかを発表し合う。</p>	<p>に注意して正しく書いている。 (〔知識及び技能〕(1)ウ)</p> <p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。</p>	
1 (書く 1)	漢字の広場 ① 四年生で学んだ漢字 ①	<p>△絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く</p>	2	6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)

			<p>こと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(2)ア</p>		<p>7. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p> <p>8. 作った文を互いに発表し合う。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
5 ～ 6	9（書く 2）	二 事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう	□言葉が人の感じ方や行動に影響を与える事例とその理由を解説した文章を読み、言葉の働きに対する見方・考え方を深める。			
5	1	人とねずみの「はい、チーズ！」	□絵と解説文を手がかりに、人とねずみが「はい、チーズ！」という言葉で笑顔になるわけを読み、同	1	○単元名と教材名、単元扉のリード文などから学習の見通しを持つ。	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解し

		<p>じ言葉が異なる働きをすることに気づく。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ⇒思判表C(1)ア</p> <p>□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)ウ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□説明や解説などの文章を比較するなどして読み、</p>	<p>1. 「はい、チーズ！」という言葉がどのような場面で使われるか、それはなぜか、話し合う。</p> <p>2. 「はい、チーズ！」という言葉の働きについて、人の場合とねずみの場合を比べて話し合う。</p>	<p>ている。(〔知識及び技能〕(2)ア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)</p> <p>【態度】積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって同じ言葉が異なる働きをすることに気づき考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
--	--	--	--	---

			<p>分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア</p>			
5 ～ 6	8 (書く 2)	言葉と事実	<p>□取り上げられた言語表現の事例とその影響、影響を与えた理由をおさえて読み、自身の言語生活も振り返りながら、事実をとらえる際の言葉の働きについて考えを深める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や</p>	1	<p>確かめよう</p> <p>1.</p> <p>(1) 「事実」とはどのようなことだと思ったか、また、「言葉と事実」という題名からどんなことを考えるか、話し合う。</p> <p>(2) p.47③段落までを読み、「事実と結びついていれ ば～そうではなさそうです。」をめぐって、筆者の述べようとするのはどのようなことか、話し合う。</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(〔思考力、判断力、表現</p>

語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ

△文中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類と
その特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ

△原因と結果など情報と情報との関係について理解
すること。 ⇒◎知技(2)ア

■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたり
するとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書
いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表
し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ

□事実と感想, 意見などとの関係を叙述を基に押さ
え, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

⇒◎思判表C(1)ア

□目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなど
して必要な情報を見付けたり, 論の進め方について
考えたりすること。 ⇒思判表C(1)ウ

□文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考
えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ

□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 自分
の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ

2~4 **考えよう**

2. 三つの具体例から, 言葉と事実について, 起こっ
たこと, 気を配ることを表にまとめる。

5 **深めよう**

3. 言葉で事実を表すことについて, 自分の考えをま
とめて書く。

力等] Cア)

【態度】粘り強く論の進め方につ
いて考え, 学習の見通しをもって
事例と解説に気をつけて文章を
読み, 言葉と事実の関係について
考えようとしている。

			<p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>□説明や解説などの文章を比較するなどして読み，分かったことや考えたことを，話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア</p>	<p>6・7 広げよう</p> <p>4. 言葉で事実を表すことについて，考えたことを発表し合い，気づいたことを話し合う。</p> <p>8 ○学習を振り返る。</p>	
6	2	話し言葉と書き言葉	<p>△話し言葉と書き言葉の特徴の違いについて理解したり，場に応じた言葉の選び方の違いや表現の仕方の違いについて理解したりする。</p> <p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒◎知技(1)イ</p>	<p>1 ○「話し言葉と書き言葉」について学ぶという学習内容を理解して，学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 話し言葉と書き言葉を比べて，それぞれの特徴や性質の違いなどについて確かめる。</p> <p>2 「話し言葉と書き言葉にみられる特徴」(p.57)を見て，話し言葉と書き言葉の違いを確かめる。</p> <p>3. 「話し言葉と書き言葉の特徴」としてあげられているものが，実際にどのようなかたちで現れるか，具体的な場面を考えて発表する。</p> <p>4. 話し言葉と書き言葉の特徴について考え，日常の言語生活でも気をつけて話したり，書いたりしていくよう話し合う。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p> <p>(〔知識及び技能〕(1)イ)</p> <p>【態度】積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し，学習課題に沿って自身の言語生活を振り返って考えようとしている。</p>
6 ～ 7	9(話す 聞く4, 書く5)	三 伝わるように構成を考えよう	◇■伝えたい相手や目的，内容を考えて，構成を工夫して話したり書いたりする。		

6	4 (話す 聞く 4)	「町じまん」をすいせんしよう	<p>◇推薦するものよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりする。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。 ⇒知技(1)キ</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒◎思判表 A(1)ア</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒◎思判表 A(1)イ</p>	1・2	<p>○推薦し合って、「町じまん」を決め、ポスターを作るという学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう (重点)</p> <p>1. 推薦するものを決めて調べる。</p> <p>(1) 自分が推薦したいものについて調べたことを、「よいところ・課題」の両面から表にまとめる。「課題」は推薦できない理由になるか、別の見方はないか吟味する。</p> <p>(2) 「町とのつながり」はどこかを明確にして推薦理由を考える。</p> <p>3 組み立てよう (重点)</p> <p>2. 聞き手が納得するような構成を考え、発表の練習をする。</p> <p>(3) 整理した表から、聞き手が納得するような理由を2～3点挙げ、表に整理して、述べ方の工夫を考える。</p> <p>(4) 構成メモができたならグループで発表練習をする。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>【態度】積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして推薦するものよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりしようとしている。</p>
---	-------------------	----------------	---	-----	--	---

			<p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表 A(1)ウ</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表 A(1)エ</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表 A(2)ア</p> <p>☆特別活動（朝の会）など：目的や内容に応じて適切な方法でスピーチをする。</p>	4	<p>話そう・聞こう</p> <p>3. 発表会を開く。</p> <p>伝え合おう</p> <p>4. 感想を交流する。</p> <p>○学習を振り返り、生活にいかす。</p>	
7	5 (書く 5)	ポスターを作ろう	<p>■構成や表現を工夫して、ポスターを作る。</p> <p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒◎ 知技(1)イ</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒ 知技(2)イ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことな</p>	1 2・3	<p>○「学習の進め方」を読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう</p> <p>1. 伝えたい内容や相手を決め、取材する。</p> <p>組み立てよう（重点）</p> <p>2. ポスターの構成を考える。</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。 (〔知識及び技能〕(1)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p>

		<p>どから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表 B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p>	<p>4</p> <p>5</p>	<p>書こう・読み返そう（重点）</p> <p>3・4. 表現を工夫してポスターを作り、まちがいがなければ読み返す。</p> <p>伝え合おう</p> <p>5. ポスターを読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）</p> <p>【態度】粘り強くポスター全体の構成や展開を考え、学習の見</p>
--	--	--	-------------------	---	---

						通しをもって構成や表現を工夫して、ポスターを作ろうとしている。
7	3（書く 1）	漢文に親しむ	<p>△現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響きを読み味わう。△文章を音読したり朗読したりすること。</p> <p>⇒◎知技(1)ケ△親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章を音読するなどして，言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒◎知技(3)ア△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して，昔の人のものの見方や感じ方を知ること。 ⇒知技(3)イ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>⇒思判表 B(1)ウ■事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動。</p> <p>⇒思判表 B(2)ア☆図書館指導：漢文作品を読み広げる。☆道徳：漢文のリズムや響きを味わい，外国の文化への関心を高める。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>1. 『春暁』の情景を思いうかべ，リズムを感じながら音読する。</p> <p>2. 『静夜思』の情景を思いうかべ，リズムを感じながら音読する。</p> <p>3. 『論語』と『大学』にこめられた昔の人のものの見方や感じ方を考え，音読する。</p> <p>4. 感想をまとめる。</p>	<p>◎【知技】文章を音読している。</p> <p>（〔知識及び技能〕(1)ケ）◎【知技】親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章を音読するなどして，言葉の響きやリズムに親しんでいる。（〔知識及び技能〕(3)ア）【思判表】「書くこと」において，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>（〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ）【態度】積極的に現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響</p>

						きを理解し、今までの学習を生かして漢文を読み味わいながら音読しようとしている。
7	2	敬語	<p>△敬語のはたらきと種類を理解して、正しく使う。</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。</p> <p>⇒◎知技(1)キ</p>	<p>1</p> <p>○冒頭の電話のやり取りを通して、相手による言葉遣いの違いに気付く。</p> <p>1. 教科書を読んで敬語とその働きについて理解する。</p> <p>2. 教科書を読み、敬語がどのような場面で使われるか理解する。</p> <p>2</p> <p>3. 教科書を読み、敬語の種類別に、その働きと言葉の例を理解する。</p> <p>4. 敬語の種類を考えながら、適切に敬語を使用する。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>	<p>◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。(〔知識及び技能〕(1)キ)</p> <p>【態度】積極的に日常よく使われる敬語を理解し、今までの学習を生かして敬語を使う場面や使い方に関心を持ち正しく使おうとしている。</p>	

7	1	漢字の広場 ② 複合語	<p>△複合語の構成や変化、由来などについて理解を深める。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p>	1	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「食べる」と「始める」という言葉が組み合わさってできる言葉を考え、二つ以上の言葉が組み合わさってきた複合語について、そのでき方と読み方を理解する。</p> <p>2. 動きなどを表す言葉が組み合わさってできた複合語を元の言葉に分け、構成について話し合う。</p> <p>3. 複合語の言葉集めをし、短文を作る。</p> <p>4. いろいろな組み合わせ方を知り、語形や音が変化する場合があることを確かめる。</p> <p>5. 複合語のいろいろな組み合わせ方を知る。</p> <p>6. 二つの言葉が組み合わさるとき、あとの言葉の頭音が濁音になることを確かめる。</p> <p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）</p> <p>【態度】積極的に複合語の組み合わせ方について理解し、学習の見通しをもって複合語について、言葉集めをしようとしている。</p>
7	1(書く1)	漢字の広場 ②四年生で学んだ漢字 ②	△絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。△文や文章の中で漢字	2	<p>7. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。</p> <p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章</p>

		<p>と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>8. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p> <p>9. 作った文を互いに発表し合う。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>	<p>の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
--	--	--	--	---

9	2 (話す 聞く 2)	<p>知りたいことを決めて、話を聞こう</p>	<p>◇聞きたいことを明確にして、話を聞く。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒知識・技能(1)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 A(1)エ</p> <p>◇インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表 A(2)イ</p>	<p>1 ○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>話そう・聞こう (重点)</p> <p>1. テーマを決めて、話を聞く。</p> <p>(1) 二人組みになり、話し手と聞き手を決める。</p> <p>(2) 聞き手は話し手の話に合わせて、質問をする。</p> <p>2. 聞いたことをもとに、自分の考えをまとめて発表する。</p> <p>○学習を振り返る</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ)</p> <p>【態度】粘り強く聞きたいことを明確にして、学習の見通しをもって、話を聞こうとしている(④)。</p>
---	-------------------	-------------------------	---	---	--

9	2	詩を味わおう	<input type="checkbox"/> さまざまな昔の作品を読みながら、詩の世界を楽しむ。 <input type="checkbox"/> △比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒ <input type="checkbox"/> ◎知技(1)ク <input type="checkbox"/> △文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技	1・2	1. 『素朴な琴』 (1)琴が閑かに鳴り始める情景を「明るさ」「秋の美しさ」「静かさ」などから見えてきたり聞こえてきたりする様子から想像する。 (2)このことからどのような音が響いてくるか話し合う。	◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 (〔知識及び技能〕(1)ク) ◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)	
		素朴な琴	<input type="checkbox"/> ◎知技(1)ク <input type="checkbox"/> △文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技		2. 『鳴く虫』 (1)虫の音を作者が何にたとえているか話し合う。 (2)どんな虫の音がどんな宝石によって生まれるのか想像する。 (3)虫の音色と「方々の草かげがほんのりと明るい」夜の情景を想像して伝え合い、様子が伝わるように音読する。		◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) 【態度】 進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を楽しもうとしている。
		鳴く虫	<input type="checkbox"/> △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ		3. 『山のあなた』 (1)歴史的仮名遣いに気をつけながら、七五調のリズムを味わいながら音読する。 (2)「空遠く」「なほ遠く」のちがいを考え、「幸」の意味について話し合う。 (3)緩急をくふうしてリズムよく音読し合う。		
山のあなた	<input type="checkbox"/> 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ <input type="checkbox"/> 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ <input type="checkbox"/> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ <input type="checkbox"/> 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ						

			<p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>		
9 ～ 10	8（書く 2）	四 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう	<p>□残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、「やま場」の場面を見つれたり、大造じいさんの行動に対しての考えを書いたりする。</p>		
		大造じいさんとがん	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒知技(1)イ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>□目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関</p>	<p>1</p> <p>2～4</p>	<p>○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>確かめよう</p> <p>1. 大造じいさんの残雪に対する心情の変化を考える。</p> <p>(1)大造じいさんは、がんをとらえるために、どのような作戦を立てたか読み取り、その時の心情とともに、表に整理する。</p> <p>(2)大造じいさんが残雪に対してもっていた思いは、どのようなもので、どの場面でどのように変わっていったのか理由とともに話し合う。</p>
					<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを</p>

係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

⇒思判表 B(1)ア

□目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いた
りするとともに、事実と感想、意見とを区別して書
いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表
し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ

■登場人物の相互関係や心情などについて、描写を
基に捉えること。 ⇒思判表 C(1)イ

■人物像や物語などの全体像を具体的に想像した
り、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表
C(1)エ

■文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考
えをまとめること。 ⇒思判表 C(1)オ

■文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分
の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ

□事象を説明したり意見を述べたりするなど、考え
たことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)
ア

5 考えよう

2. 情景描写を見つけ、効果について話し合う。

6 深めよう

3. この物語の「山場」は、どこか。そこだと思った理
由をノートにまとめ、発表し合う。

区別して書いたりしているなど、
自分の考えが伝わるように書き
表し方を工夫している。（〔思考
力、判断力、表現力等〕 Bウ）

◎【思判表】「読むこと」におい
て、人物像や物語などの全体像を
具体的に想像したり、表現の効果
を考えたりしている。（〔思考力、
判断力、表現力等〕 Cエ）

【態度】進んで残雪に対する大造
じいさんの心情の変化を読み、学
習の見通しをもって「やま場」の
場面を見つけたり、大造じいさん
の行動について考えたことを文
章にまとめようとしている。

			<p>■物語を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。</p> <p>⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳： 物語の読みをとおして、互いに信頼し、謙虚な心で相手と接することについて考える。</p>	7・8	<p>広げよう</p> <p>4. いまのままに思っていた残雪を、「また、堂々と戦おうじゃないか。」と言って放した大造じいさんについての考えを、大造じいさんの心情にふれながら書き、友達と読み合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	
10	1 (書く 1)	鳥	<p>△「鳥」を扱った言語表現を集める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。</p> <p>⇒知技(3)ウ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関</p>	1	<p>1. 教科書の文章から「鳥」を扱った表現や歌を知り、声に出して読む。</p> <p>2. 「鳥」に関する歌や言葉を辞典などを使って調べて、ノートに書く。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考</p>

			<p>係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表 B(1)ア</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p>		<p>力, 判断力, 表現力等] Bア)</p> <p>【態度】り強く「鳥」を扱った言語表現を集めようとし, 学習の見通しをもって感じたり考えたりしたことについて文章に書こうとしている。</p>
10	4 (書く 4)	俳句を作ろう	<p>■季語や自分の気持ちや様子を表す言葉を選び, 俳句を作る。△思考に関わる語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにすること。また, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒知技(1)ク</p> <p>■目的や意図に応じて, 感じたことや考えた</p>	<p>1 ○教科書に載っている俳句・短歌について感じたことや表現の工夫について考え, 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 決めよう・集めよう (重点)</p> <p>1. 最近の心が動いたできごとを思い出し, 連想する言葉を集める。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し, 文章の中で使っていると同時に, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。また, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使っている。(〔知識及</p>

			<p>ことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表 B(1)ア■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>⇒思判表 B(1)ウ■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)イ</p>	<p>3 組み立てよう</p> <p>書こう・読み返そう</p> <p>2. 音に合う言葉を選び、俳句を作る。</p> <p>4 伝え合おう</p> <p>3. 作品を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>び技能] (1)オ) ◎【思判表】</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等] Bア)</p> <p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見直しをもって俳句をつくろうとしている。</p>
10	6 (話す聞く6)	五 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう	◇立場を決めて話し合い、さまざまな意見を聞いて自分の考えを広げる。		
		A I とのくらし	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。</p> <p>⇒知技(1)キ</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア</p>	<p>1</p> <p>○単元名やリード文を読み、普段、友達の意見を聞いて話し合いをしているかどうかを振り返り、学習の見直しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう</p> <p>1. テーマを決めて、調べる。</p> <p>(1) 「AI とのくらし」というテーマについて様々な立場から情報を調べる。</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能] (2)ア)</p> <p>◎【思判表】互「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりにしている。(〔思考力、判断力、</p>

		<p>△情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒ 知技(2)イ</p> <p>◇目的や意図に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討すること。 ⇒ 思判表 A(1)ア</p> <p>◇話の内容が明確になるように，事実と感想，意見とを区別するなど，話の構成を考えること。 ⇒ 思判表 A(1)イ</p> <p>◇資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒ 思判表 A(1)ウ</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめること。 ⇒ 思判表 A(1)エ</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒ ◎ 思判表 A(1)オ</p>		<p>2・3 組み立てよう</p> <p>2. 話し合いの準備をする。</p> <p>(2) 様々な立場から意見をまとめる。想定される質問については答えを考える。</p> <p>4・5 話そう・聞こう (重点)</p> <p>3. 「ミニディベート」を行う。</p> <p>(3) 3人組みになり，「利点の立場」「問題点の立場」「聞き役」の役割で話し合う。順に繰り返し，3人がすべての役割で話し合うことを経験する。</p> <p>6 伝える・伝え合う</p> <p>4. 感想を交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>表現力等] Aオ)</p> <p>【態度】粘り強く立場を決めて話し合い，学習の見通しをもってさまざまな意見を聞いて自分の考えを広げようとしている。</p>
--	--	---	--	--	---

			<p>◇異なる立場を生かした話し合いなど、互いの考えを伝え合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ</p> <p>☆社会科・総合的な学習の時間・特別活動：根拠や理由をはっきりさせて自分の考えを述べる。</p>			
10	1	漢字の広場 ③ 熟語の構成	<p>△二字熟語の構成や由来について理解を深める。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p>	1	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「読」「書」という二つの漢字の意味を手がかりに「読書」という熟語の意味を考える。</p> <p>2. p.118 下段の設問で示す熟語について、読み方を確かめ、組み立てにそって読み下し、意味を推測し、話し合う。</p> <p>3. 辞典が定義している意味を調べ、自分が推測した意味と比べて熟語の意味を確認する。</p> <p>4. 二字熟語の構成のタイプを五つに分けて、理解する。</p> <p>5. p.119 の設問で示す熟語について、構成を考え、意味を推測し、辞典で意味を調べて確認する。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）</p> <p>【態度】粘り強く二字熟語の構成や由来について理解を深め、学習の見通しをもって熟語の構成をもとに意味を考えたり、辞典を使って調べたりしようとしている。</p>
	1 (書く 1)	漢字の広場 ③ 四年生で学んだ漢字 ③	△絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	2	6. 教科書の絵を見て、描かれているものについて説明する。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及

		<p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)オ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>7. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている都道府県名を使った文を書く。</p> <p>8. 書いた文を見直し、適切な表現に替えたり、まちがいを正したりして、発表し合う。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>	<p>び技能] (1)エ)</p> <p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
--	--	---	--	---

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
10	-	五年生で学ぶこと				
10 ～ 11	10 (書く5)	一 多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう	■□多様な文章や資料を比べながら読み、自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書く。			
10		世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう	△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒ 知技(1)イ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ △原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア △情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒ 知技(2)イ	1 2・3	○単元名とリード文を読み、自然保護に対する自分の意見を意見文にまとめることについて話し合い、学習の見通しをもつ。 白神山地について知る。 1. 「ブナの森が支える豊かな自然」を読み、白神山地が世界遺産に登録された経緯や、白神山地がつくり出す計り知れない恵みについて知る。	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)

■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ

■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒B 思判表(1)エ

□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)ウ

□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 C(1)オ

■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア

□説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表 C(2)ア

4～6

資料を読み、白神山地の課題を知る。

2. 白神山地の課題を知り、自分の考えをまとめる。
- (1) 資料 1～7 を読み、自然保護にはさまざまな考えがあることを理解する。
- (2) 斎藤さんの文章や資料 1～7 をもとに、それぞれの資料からわかることをノートに書き出す。
- (3) 資料からわかったことについて、自分の考えとその根拠（もとなる資料）を書く。

7・8

グループで考えを交流し、自分の考えを深める。

3. 考えを出し合い、グループで意見を交流することで、自分の考えを深める。

◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Cウ）

◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Cオ）

【態度】積極的に多様な文章や資料を比べながら読み、学習課題に沿って自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書こうとしている。

				9・10	<p>自分の考えをまとめ、意見文を書く。</p> <p>4. メモをもとに意見文を書く。</p>	
10	4 (書く 1)	「古典」を楽しむ	<p>△昔から読み継がれている物語を読み、感想を書く。</p> <p>△親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。 ⇒◎知技(3)イ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p>	1 2 3 4	<p>○単元とびらを読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 『竹取物語』『平家物語』『伊曾保物語』にふれて、その文章の一部を音読する。</p> <p>2. 日本の伝統芸能にふれ、演劇や絵本、マンガや映画など、多様な表現に生きている古典を集めたり読んだりして人々との関わりについて知る。</p> <p>3 「古典」にふれた感想を文章にまとめる。</p>	<p>◎【知技】古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(〔知識及び技能〕(3)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p> <p>【態度】進んで昔から読み継がれている物語を読み、学習の見通し</p>

			<p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2) ア</p> <p>☆総合的な学習の時間・道徳：昔の人の思いや考え方にふれ，今と昔の違いや共通点について調べたり，関心を高めたりする。</p>			<p>をもって「古典」を読んだ感想をまとめようとしている。</p>
10	2	かなづかいで気をつけること	<p>△仮名遣いのきまりを理解して，文を正しく書く。△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>1</p> <p>○学習内容を理解し，日常化への見通しをもつ。</p> <p>1. p.28・29 の例文を読み，どちらの文字を入れたらよいか話し合う。</p> <p>2. 仮名遣いのきまりを理解する。</p> <p>2</p> <p>3. 仮名遣いのきまりに気をつけて，問題を解く。</p> <p>4. 日常の言語生活における仮名遣いを振り返る。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）【態度】積極的に仮名遣いのきまりを理解し，学習課題に沿って文を正しく書くようとしている。</p>	
11	1	漢字の広場 ④ 漢字の成り立ち	<p>△漢字の成り立ちについて関心を深める。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに</p>	<p>1</p> <p>○学習内容を理解し，学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 漢字の四つの成り立ちの種類について概観する。</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き，共通語と方言との違いを理解している。また，仮名及び漢字の由</p>	

			<p>に、当該学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>2. 象形文字について理解し、設問に答えたりして、ノートにまとめる。</p> <p>3. 指事文字について理解し、設問に答えたりして、ノートにまとめる。</p> <p>4. 会意文字について理解し、設問に答えたりして、ノートにまとめる。</p> <p>5. 形声文字について理解し、ノートにまとめる。</p> <p>6. 漢字辞典を利用して、形声文字の意味を表す部分(部首)と、音を表す部分を確認する。</p>	<p>来、特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で担当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって漢字の成り立ちについて関心を深め、漢字事典で調べようとしている。</p>
11	1 (書く1)	漢字の広場 ④ 四年生で学んだ漢字 ④	<p>△絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに担当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に担当されている漢字を漸次書き、文</p>	2 <p>7. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。</p> <p>8. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p> <p>9. 書いた文を見直し、適切な表現に替えたり、まちがいを正したりして、発表し合う。</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で担当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p>

			<p>や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表 B(1)オ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(2)ア</p>		○学習したことをふり返る。	【態度】積極的に前学年や当該学年で担当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
11	6(書く 1)	二 表現の効果を考えながら、登場人物の関わりをとらえて読もう	□表現の工夫や登場人物の関わりをとおして、『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書く。			
		雪わたり	<p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いた</p>	1	○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。	◎【知技】比喩などの表現の工夫に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ク)
				2	<p>確かめよう</p> <p>1. 物語の設定や出来事、変容について読む。</p> <p>(1) 四郎とかん子がきつねに会えるのはどんな時なのか確かめる。</p> <p>(2) 森の中で何が起きたのか確かめる。</p> <p>(3) 物語の最初と最後の場面で変化したことを確かめる。</p>	◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)
						◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や

		<p>りするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：物語の読みをとおして、自分と異なる意見</p>	<p>3・4</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>考えよう</p> <p>2. やま場を探す。表現の工夫やその効果について紹介し合う。</p> <p>(1) 四郎とかん子のきつねに対する考え方が変わった「やま場」の場面をさがす。</p> <p>(2) 表現のくふうについて、思ったことや、どのような効果があるか考えたことを、紹介し合う。</p> <p>*リズムのある表現</p> <p>*たとえを使った情景描写</p> <p>深めよう</p> <p>3. 物語を読んで、人間ときつねの関係について考えたことをノートにメモし、話し合う。</p> <p>広げよう</p> <p>4. 『雪わたり』の魅力を発表し合う。</p> <p>(1) 「雪わたり」の魅力を紹介する文章を書く。</p> <p>(2) 他の人の紹介文を読んで、着目点や表現のよさを見つめる。</p>	<p>感想を共有し、自分の考えを広げている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ)</p> <p>【態度】進んで物語の表現の工夫や登場人物の関わりを読み、学習の見通しをもって『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書こうとしている。</p>
--	--	--	------------------------------	--	--

			<p>や立場を大切にするとともに、自然の偉大さを知り、自然環境についての考え方を深める。</p>			
12	5 (書く 2)	「図書すいせん会」をしよう	<p>□印象に残った作品を取り上げ、推薦の仕方を工夫して、「図書すいせん会」を開く。</p> <p>□推薦の仕方を工夫して、「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合う。</p> <p>△日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。 ⇒◎知技 (3)オ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自</p>	1	<p>○推薦の仕方を工夫して、「図書すいせん会」を開くという学習内容をとらえ、学習の見直しをもつ。</p> <p>1. 推薦の仕方や好きな本について話し合う。</p>	◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。 (〔知識及び技能〕 (3)オ)
				2	<p>2. 推薦する本を決めて内容を考える。</p>	◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(〔思考力、判断力、表現力等〕 Cカ)
				3・4	<p>3. 「図書すいせん会」の準備をする。</p> <p>(1) 内容にあった効果的な方法を選ぶ。</p> <p>(2) 推薦の文章を書く。</p>	【態度】積極的に推薦の仕方を工夫して、学習課題に沿って「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合おうとしている。

			<p>分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒◎思判表 C(1)カ</p> <p>■事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ</p> <p>□学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。 ⇒思判表 C(2)ウ</p> <p>☆図書館指導：紹介カードや感想交流コーナーを活用して、読書の幅を広げ合う。</p>	5	4. 「図書すいせん会」を開き、推薦の文章を読み合い、感想を伝え合ったり、友達が推薦した本を読んだりする。	
12	3 (話す聞く 1)	言葉で伝える, 心を伝える	△相手の立場を意識しながら、自分の気持ちを言葉で伝える。△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技 (1)ア△	1	○学習内容を理解し、日常化への見通しをもつ。1. p. 68・69の会話文を読み、二人のやりとりの背景を理解する。	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(〔知識及

		<p>原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒思判表 A(1)イ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 A(1)エ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒◎思判表 A(1)オ◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ</p>	<p>2</p> <p>3</p>	<p>2. 二人のやりとりの問題点を話し合って考える。</p> <p>3. 二人の仲直りの仕方を考えて発表する。</p> <p>4. p.70の仲直りの会話文を読み、どういうところを大切に仲直りしたのか、「相手の立場に立つ」「くわしく伝える」「きちんと確認する」というポイントを確認する。</p> <p>5. その他にも問題点があれば話し合う。</p> <p>6. p.71を読み、二人のやりとりの状況を整理し、理解する。</p> <p>7. 二人のやりとりに対し、第三者の立場から客観的にみて、助言を考える。</p> <p>8. どのように伝え合えばよかったのかを考えて二人へ助言を発表し、よりよいものを考える。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>【技能】(1)ア)◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】Aエ)◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】Aオ)【態度】積極的に相手の立場を意識し、今までの学習を生かして相手の立場を意識しながら、自分の気持ちを言葉で伝えようとしている。</p>
--	--	---	-------------------	--	--

<p>1</p> <p>詩を味わおう</p> <p>はたはたのうた</p> <p>雪</p>		<p>□さまざまな昔の作品を読みながら，詩の世界を味わう。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語句と語句との関係，語句の構成や変化について理解し，語彙を豊かにすること。また，語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき，共通語と方言との違いを理解すること。また，仮名及び漢字の由来，特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて，描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p>	<p>1</p> <p>1. 『はたはたのうた』</p> <p>(1) 全編を音読して「はたはた」という魚のイメージを話し合う。</p> <p>(2) 題名の「うた」に着目し，「はたはた」のくり返しからどんな思いの「うた」であるかを想像し合う。</p> <p>(3) 「歌」の思いが表れるよう，くふうして音読する。</p> <p>2. 『雪』</p> <p>(1) 2行詩「雪」を読み，描かれた情景について話し合う。</p> <p>(2) 話し合いで出てきた着眼点について想像を広げ，作品の世界を味わう。</p> <p>(3) 場景が伝わるように声量や間，声の調子をくふうして音読する。</p>	<p>◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p> <p>(〔知識及び技能〕(1)ク)</p> <p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき，共通語と方言との違いを理解している。また，仮名及び漢字の由来，特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において，人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしている。</p> <p>(〔思考力，判断力，表現力等〕Cエ)</p> <p>【態度】進んで昔の作品を読み，学習の見通しをもって詩の世界を味わおうとしている。</p>
--	--	--	---	---

			<p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>		
1	6 (書く 6)	三 事実と意見を結びつけて 書こう	■身のまわりの生活から課題を見つけ、事実と意見を結びつけて提案文を書く。		
		提案文を書こう	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒知技(1)イ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p>	<p>1 ○「学習の進め方」を読んで、活動のイメージを具体的につかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 決めよう・集めよう</p> <p>1. 取材して、提案する事柄を決める。</p> <p>3 組み立てよう</p> <p>2. 提案文の構成を考える。</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」におい</p>

		<p>△文中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p> <p>■目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えること。 ⇒◎思判表 B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒◎思判表 B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p>	<p>4・5</p> <p>6</p>	<p>書こう・読み返そう（重点）</p> <p>3・4. 読む人に提案したいことが伝わるように書き，推敲する。</p> <p>伝え合おう（重点）</p> <p>5. 提案文を読んだ感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>て，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕 Bウ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕 Bオ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において，文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力，判断力，表現力等〕 Bカ）</p> <p>【態度】積極的に身のまわりの生活から課題を見つけ，学習課題に</p>
--	--	--	---------------------	---	---

					沿って事実と意見を結びつけて提案文を書こうとしている。
2	2	和語・漢語・外来語	<p>△和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、それぞれから受ける印象のちがいについて考えることができる。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝</p>	<p>1 ○日本語には和語・漢語・外来語があることを知り、学習活動に対する見通しをもつ。</p> <p>1. 和語・漢語の由来と特質について理解する。</p> <p>2. 外来語の由来の基本について理解する。</p> <p>2 3. 外来語が、諸外国の文化の影響を受けて成り立っていることを理解する。</p> <p>4. 和語・漢語・外来語から受ける印象のちがいや使用方の違いなどについて話し合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ)</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）</p>

			<p>え合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア</p> <p>◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ</p>			<p>【態度】積極的に和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、今までの学習を生かしてそれぞれから受ける印象のちがいにについて考えようとしている。</p>
2	1	漢字の広場 ⑤同じ音の漢字	<p>△同音の漢字，同音異義語について理解する。△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ△第5学年及び第6学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ△語句の由来などに関心をもつとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き，共通語と方言との違いを理解すること。また，仮名及び漢字の由来，特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ</p>	1	<p>○学習内容を理解し，学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「強力」と「協力」が，それぞれどんな意味を表しているか，考える。</p> <p>2. 同じ音の言葉である「関心・感心」などの意味を国語辞典で調べ，文脈にふさわしい熟語をあてはめたらよいか，話し合う。</p> <p>3. 意味や使い方を漢字辞典で確かめて，「氏名」や「指名」などの言葉を使って文を作る。</p>	<p>◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ) 【態度】積極的に同音の漢字，同音異義語について理解し，学習課題に沿って同じ音の漢字を正しく使い分けようとしている。</p>

					4. p. 85 の下段の設問をノートに書き、上の欄内の漢字の意味や使い方を漢字辞典で調べ、それぞれふさわしい漢字をあてはめる。	
1 (書く 1)	漢字の広場 ⑤ 四年生で学んだ漢字 ⑤	△絵を見て想像したことをもとに、四年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	2	5. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。	◎【知技】前学年や当該学年で 配当されている漢字を文や文章 の中で使っている。(〔知識及	

		<p>や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ⇒思判表C(1)ア</p> <p>□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)ウ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)</p>	2・3	<p>確かめよう</p> <p>1.</p> <p>(1) まんがのおもしろさのひみつについて、考える。</p> <p>(2) まんが、絵本、物語を比べて、まんがの特徴が何かを話し合う。</p> <p>考えよう</p> <p>2. 文章で紹介されているさまざまな「まんがの方法」が、書かれている段落や効果などをノートにまとめる。</p> <p>4 深めよう</p> <p>3. 「まんがの方法」を紹介する、筆者の手順や表現の特徴について話し合う。</p> <p>5 広げよう</p> <p>4. まんがに対する考えを、『まんがの方法』を読む前と比べ、その変化を文章に表す。</p> <p>(1) p.90 に示された三つの構成で文章を書く。</p> <p>(2) 書いた文章を友達と読み合い、『まんがの方法』を読む前と読んだ後の考えの変化や、まんがについて気づいたことなどを交流する。</p> <p>○学習をふり返る。</p>	<p>句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめて</p>
--	--	--	-----	---	--

			<p>ア</p> <p>□説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア</p>		<p>いる。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)</p> <p>【態度】粘り強くまんがの表現方法やおもしろさを理解し、学習の見通しをもってまんがに対する自らの考えの変化を文章に表そうとしている。</p>	
1 ～ 2	5 (話す 聞く5)	ひみつを調べて発表しよう	<p>◇資料を生かした構成を考えて、効果的に発表する。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。 ⇒知技(1)キ</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語</p>	6	<p>○不思議だと思うことからテーマを選び、調べて発表するという学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう</p> <p>1. テーマを決め、伝えたいことの内容を考える。</p> <p>(1) 発表の中心になる柱を決める。</p> <p>(2) 内容にそった資料を集める。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>【態度】進んで資料を生かした構成を考えて、今までの学習を生かして効果的に発表しようとしている。</p>

句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒

◎知技(2)イ

◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒A(1)ア

◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒◎

A(1)イ

◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒◎A(1)ウ

◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒A(1)エ

◇インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒A(2)イ

☆社会科・総合的な学習の時間・特別活動：根拠や理由をはっきりさせて、自分の考えを述べる。

7・8 **組み立てよう(重点)**

2. 発表の準備をする。

(3) 発表の仕方の工夫について考える。

(4) 発表練習を行い、発表の内容と方法を見直す。

9・10 **話そう・聞こう(重点?)**

3. 発表する。

ふりかえる・いかす

4. 自分たちの発表を振り返る。

2 ～ 3	1	漢字の広場 ⑥送りがなのき まり	△送り仮名について理解を深め、正しく書く。△文 や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるととも に、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこ と。 ⇒◎知技(1)ウ△第5学年及び第6学年の各 学年においては、学年別漢字配当表の当該学年まで に配当されている漢字を読むこと。また、当該学年 の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や 文章の中で使うとともに、当該学年に配当されてい る漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒ 知技(1)エ	1 ○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 二つの文にあるそれぞれの「集」の適切な送り仮名 について話し合う。 2. 動詞や様子を表す言葉など、活用のある言葉の送り 仮名について知る。 3. 名詞のように活用のない言葉の送り仮名について知 る。 4. p.109 下段の設問を解き、送り仮名のきまりについ ての関心を深める。	◎【知技】文や文章の中で漢字 と仮名を適切に使い分け るとともに、送り仮名や 仮名遣いに注意して正し く書いている。 (〔知識及び技能〕(1)ウ)【 態度】積極的に前学年や 当該学年で配当されてい る漢字を文や文章の中 で使い、学習の見通しを もって送り仮名について 理解を深め、正しく書 こうとしている。
3	1 (書く 1)	漢字の広場 ⑥ 四年生で学んだ漢字 ⑥	△絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ 漢字などを使って文を書く。	2 5. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明 する。	◎【知技】前学年や当該学年で 配当されている漢字を文 や文章の中で使っている。 (〔知識及

			<p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)オ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>6. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p> <p>7. 書いた文を見直し、適切な表現に替えたり、まちがいを正したりして、発表し合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>び技能] (1)エ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
3	5 (書く1)	五 みずぐをさがし求めた筆者について、考えをまとめよう	□筆者の心情や考えを読み、自分の考えをまとめる。		
				1	○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。

	<p>みすゞさがしの旅——みんな ちがって、みんないい</p>	<p>△文中での語句や係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p>	<p>2</p> <p>3</p>	<p>確かめよう</p> <p>1. みすゞをさがし求める筆者の行動から、その時の筆者の心情を考える。</p> <p>(1) 「いつ」「どのようなこと」があったのかに気をつけて、筆者の「みすゞさがしの旅」を表にまとめる。</p> <p>(2) (1) で作った表に、そのときの筆者の心情を書き加える。</p> <p>考えよう</p> <p>2. 1 で作った表をもとに、筆者の心情について、考えたことを話し合う。</p>	<p>◎【知技】文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)</p>
--	-------------------------------------	--	-------------------	--	---

		<p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ⇒思判表 C(1)ア</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒◎思判表 C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒思判表 C(1)エ</p> <p>□⇒◎C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ</p>	<p>4</p> <p>5</p>	<p>深めよう</p> <p>3. 筆者は、みずゞの作品の、どのようなところに心をひかれたのか、文章中に取り上げられている作品をもとに話し合う。</p> <p>広げよう</p> <p>4. みずゞをさがし求める筆者について、考えをノートにまとめ、友達と読み合う。</p> <p>○学習をふり返る。</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）</p> <p>【態度】積極的にノンフィクション作品の筆者の心情や考えについて理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。</p>
--	--	--	-------------------	--	---

3	2 (話す 聞く1・ 書く1)	国語の学習 これまで これ から	<p>◇一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。</p> <p>△文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒◎思判表 A(1)ア</p> <p>(◇話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。 ⇒3・4年 思判表 A(2) イ)</p>	1	<p>1. 一年間の国語の学習を振り返り自分が学んできたことを、「五年生で学ぶこと」を見ながら書き出したり話し合ったりする。</p> <p>2. 六年生になったら1. で出し合ったことがどのように広がっていくのか、想像したり希望を出し合ったりする。</p>	<p>【知技】話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aア)</p> <p>【態度】積極的に一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。</p>
---	------------------------------	---------------------	--	---	--	---